

ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立伊野小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な学習の時間	地域のためにできること	伊野いち実行委員会、コミセン やって未来こいねっと事務局 コミュニティデザイナー
ねらい	<p>○地域産業への体験を通して、人々の苦労や知恵に思いをめぐらせ、ふるさとの一員として何をすべきかを考え実践することができる。</p> <p>○課題を追究するために、積極的に地域の人々に働きかけ、ふるさとへの思いを発信することができる。</p> <p>○活動を通して、地域の人々の思いや願いに気づき、さらに深く追究しながら自分のできることに取り組むことができる。</p>		
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で行われる産直市「伊野いち」への参画を通して、地域課題について考える。 地域課題の解決に向けた方策を考え、実践を通して、その解決に取り組む。 取組について、まとめ発表する（コミュニティデザイナー、学習成果発表会）。 取組を通して、地域に向けて自分たちができること考え、実践する。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産直市へ関わる地域の「ひと」との交流を通して、人の思いや優しさ、地域のよさ等にふれ、地域への愛着を深める。 コミュニティデザイナーに将来の夢や地域への思いを伝えることで、ふるさと伊野への愛着や誇りを高め、自分たちができる地域貢献を考える場面をつくる。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題について、自分の考えと他者の考えを比べよりよい考えを見出したり、外部の人の意見を聞いたりすることで、課題解決力を育てる。 ICTを活用して取組についてまとめたり、コミュニティデザイナーや保護者、地域の方へ向けて発表したりすることを通して、表現力を高める。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方へのインタビューや産直市での地域貢献で意欲的に関わったり働いたりしようとする姿が見られた。 自分の夢と地域への貢献を考えることで、地域外からできる貢献や地域にしながら夢を叶える方法に気づき、自分の生き方と関わらせながら地域課題を考えることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働的な学びを通して、よりよい考えやみんなが納得できる考えを作り出そうとすることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方へのインタビューをもとにしたことで、地域への愛着を初めに確認することができ、そこから自分の夢と地域の課題を関わらせながら考えることで主体的な活動につながった。しかし、今できる活動と夢をもう少し関わらせるとより深い考えにつなげることができたのではないかと。 活動の様子を他学年や地域へ発信し、周囲にも自分たちの地域のよさを広げていくことで、学校と地域が協働しながらふるさとへの愛着心を育てていく。 			



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)